

# 令和2(2020)年度 柏崎技術開発振興協会 事業計画(案)

## 【概要】

本協会事業の柱である技術者育成支援事業「ものづくりマイスター・カレッジ」は、開講してから15年目となる。引き続き、新入社員実務講座、短期企画研修、事業所オーダー研修、長期研修の4つの研修事業を柱とし、若手技能者の育成に取り組むとともに、技能検定への挑戦を積極的に後押しする。

新たな製品や技術の開発により事業拡大や新分野への参入を目指す企業への支援策としては、「ものづくりチャレンジ支援事業」の活用を働きかけていくほか、「ものづくり補助金」等の各種競争的資金の獲得に挑戦する企業に対し、個別対応で支援を実施していく。

企業の受注開拓支援策としては、見本市への単独出展にかかる経費の一部助成や機械要素技術展への共同出展を通じ、新たな取引先開拓と受注拡大に向けて積極的に支援する。

## <事業細目>

### 1 ものづくりマイスター・カレッジの実施

- ◆ ものづくり活性化センターを会場にもものづくりマイスター・カレッジを実施する。

研修区分	内容
新入社員実務講座 (4月6日から10日まで)	安全衛生教育、メンタルヘルス、5Sの知識、材料知識、工作機械・加工方法、図面の見方、測定機器の取扱い
短期企画研修(通年)	手仕上げ加工の基礎、汎用旋盤基礎、汎用フライス盤基礎、三角関数、NC旋盤プログラミング、NC旋盤オペレーション、NC旋盤(II)複合サイクル、マシニングセンタプログラミング、マシニングセンタオペレーション、測定器の定期検査、半自動溶接基礎、TIG溶接基礎、自由研削といし作業特別教育、粉じん作業特別教育
事業所オーダー研修(通年)	事業所のオーダーに応じてカリキュラムを編成
長期研修(機械工学コース) (9月から翌年3月まで)	機械要素、機械一般、切削理論、金属材料、材力・力学、品質管理、電気の基礎、工作測定、油空圧装置、計測工学、環境対策、機械図面、修了試験
長期研修(技能検定コース) (9月から翌年7月まで)	NC旋盤専攻、NCフライス盤専攻、マシニングセンタ専攻

- ◆ 運営体制

《人材育成コーディネーター》 山崎 俊哉(常勤)

《人材育成アドバイザー》 藤田 昇(非常勤)

事業の企画立案、カリキュラムの作成、講師の調整、学科・実技の指導、工作機械類の整備調整、教材・工具類の選定購入、企業訪問等による企業ニーズの掘り起こし等、本事業の運営全般を担う。

《ものづくりマイスター・カレッジ運営委員会》

事業内容や講師の選考に関して審議する(現委員の任期は、令和4(2022)年4月30日まで)。

委員長 酒井 好道(㈱酒井鉄工所代表取締役)

副委員長 品田 孝行(㈱品銀鉄工所代表取締役)

副委員長 藤巻 健(㈱藤巻製作所代表取締役)

委員 寺島 正二郎(新潟工科大学地域産学交流センター教授)

委員 小林 裕貴(新潟県立柏崎工業高等学校教頭)

委員 下條 満久(青年工業クラブ会長)

- ◆ なお、中越沖地震復興基金の解散に伴い、8月末をもって補助金が終了することから、9月以降は、運営体制の見直しや受講料の改定を実施する（2月14日実施の第2回運営委員会にて承認済）。

《運営体制》

人材育成コーディネーターの勤務日数を週5日から4日に変更し、アドバイザーの職は廃止する。

《受講料の改定》

令和2（2020）年9月以降の受講料は1時間当たり500円を基本とし、受講時間に応じて設定する。

研修区分	コース区分	受講時間	8月まで		9月から	
			市内事業所	市外事業所	市内事業所	市外事業所
短期研修	企画研修	6H	1,000	1,500	3,000	4,500
	オーダー研修	6H	2,000	3,000	3,000	4,500
長期研修	検定受験コース	76H	30,000	45,000	38,000	57,000
	機械工学コース	54H	26,000	39,000	27,000	40,500
	図面の見方コース	24H	6,000	9,000	12,000	18,000
	機械検査コース	16H	6,000	9,000	8,000	12,000
	スポット再受講 (修了者・学科)	2H	500	750	オーダー研修として対応 1回2Hで1,000円 (市外は、1,500円)	
	スポット再受講 (修了者・実技)	2H	4,000	6,000		
	スポット再受講 (非修了者・学科)	2H	1,500	2,250		
	スポット再受講 (非修了者・実技)	2H	10,000	15,000		
新入社員実務講座		42H	12,000	18,000	21,000	31,500

《合同懇親会の廃止》

合同懇親会を廃止し、ものづくり活性化センターで開講式を行う。

《研修機関との連携》

中小企業大学校三条校のサテライト・ゼミを活用し、ものづくり活性化センターで次の研修を実施

『実践で学ぶ5Sと目で見える管理』 日 時：9月10日（木）～11日（金）

10月12日（月）～13日（火）

定 員：15名（管理者、新任管理者等）

受講料：39,000円

## 2 受注開拓支援事業

- ◆ 新規受注開拓や販路拡大を目的に見本市等に出展する事業者に対し、出展料助成による支援を実施

《見本市等出展支援事業》 助成率：小間料や装飾費の2/3

助成上限額：50万円（応募者多数の場合、予算の範囲内で交付額を按分）

- ◆ ものづくり産地柏崎をPRすべく、事業者の展示品や説明員と共に各地の工業見本市に出展する。

《第25回機械要素技術展》 会期：令和3（2021）年2月3日（水）から5日（金）まで

会場：幕張メッセ

概要：3小間・最大11社を募集して共同出展

- ◆ 新規取引先開拓に向けたセミナー等を開催

《研修事業》 新規取引先開拓や受注拡大に繋がる企業向け研修を実施

### 3 ものづくりチャレンジ支援事業

- ◆ 新技術・新製品開発及び生産性改善に対する取組に対し、助成金を交付する。

募集枠	助成率	助成上限額	備考
産学共同研究枠	助成対象経費の2/3	300万円	
一般枠	助成対象経費の2/3	300万円	
I o T実装推進枠	助成対象経費の2/3	100万円	工場見学の受入れを要件とする。
生産性改善枠	助成対象経費の1/2	50万円	従業員50人以下の事業者に限定する。

### 4 相談員事業

- ◆ 経営課題や技術課題、知財課題等の個別課題に対し、案件に応じた専門家等を派遣する。

《相談員事業》 1案件3回まで専門家を無料派遣（知財調査案件は、1案件1回まで無料派遣）

《提携技術アドバイザー》 堀 裕爾 氏（非常勤）

研究開発等、企業の積極的な取組に対し、技術的なサポートを行う。また、新潟県工業技術総合研究所、N I C O等の関係機関との調整・アドバイスの役割を担う。

### 5 産学連携交流促進事業

- ◆ 新潟工科大学の運営による「ものづくり開発塾」により、最新技術を体験する場を提供する。

《ものづくり開発塾》 旬なテーマを題材とした座学・実技講座により開発マインドを醸成する。

- ◆ 大学等教育研究機関との交流を促進し、産学連携の事業化を模索する。特に、新潟工科大学とは定期的に情報交換を行って連携を密にする。

### 6 若手人材育成事業

- ◆ 柏崎青年工業クラブが実施する若手経営者や幹部社員の人材育成事業を支援する。
- ◆ 次代を担うものづくり人材の育成や地元定着に向けた高校生インターンシップ事業を支援する。

### 7 関係団体との連携促進

- ◆ 他の産業支援機関や金融機関、大学等教育機関等と連携した包括的産業支援体制を構築する。

《新潟県工業技術総合研究所》 主に技術的側面から連携を図る。

《にいがた産業創造機構》 主に経営的側面から連携を図る。

《広域ビジネス応援ネットワーク》 地場の産業支援機能として連携を図る。